

# 仕組み債

2012・11・20 文責 松岡 英一

傍聴記

北海道議会

2012・11・13

24年決算特別委員会

## 指導が問われる道関与団体の資産運用？



質問者 真下紀子 道議  
(旭川市・共産党)

**真下 紀子議員の質問**  
道が出資する関与団体が、リスクの高い金融派生商品「**仕組み債**」を購入し、多額の含み損を出している団体があるといわれますが、道はその実態の詳細を掴んでいますか。また、9団体の含み損の実態を明らかにしてください。

「**仕組み債**」の運用は、道監査委員や道担当部署が、再三にわたり問題を指摘し、慎重な財産管理に努めるよう指導しているが、結果は含み損が大きくなってきている。どう受け止めればよいか示してください。

**道・総務部法人局の答弁**  
為替レートや金利、株式市場の動向によって、利子などが変動するように作られた債券の総称で、高い利回りを追及できるものの為替レート等により無利子となる場合もある「金融派生商品」と理解しています。  
道も検査等により「**仕組み債**」の保有を現時点で確認しているのは10法人で、国所管法人を除く9法人の仕組み債が含み損をしていると把握しています。  
計上していなかった法人が計上したこと（新千歳空港周辺環境整備財団）や新たに監査で判明した（北海道栽培漁業振興公社）ことでの増加ですが、北海道健康づくり財団と北海道馬鈴しょ生産安定基金協会は平成24年に購入。21年度から、保有団体に財産運用は慎重にするよう促してきたのですが、残念な結果（3法人が購入）となっています。

- ◆ 北海道が出資する関与団体が69法人あり、リスクの高い金融商品を購入し、評価損（売却を仮定）をしている事実が明らかにされた、道議会決算特別委員会を傍聴しました。

購入時「慎重な検討」がされましたか

### H23 北海道関与団体保有「仕組み債」の概要 （評価損出典・道総務部法人局）

関与団体名	簿価	時価	評価損	道出捐金
道豆類価格安定基金協会	54億7135万円	45億635万円	9億6500万円	2億7500万円
道馬鈴しょ生産安定基金協会	30億8906万円	25億7506万円	5億1400万円	10億円
函館地域産業振興財団	8億7900万円	6億9000万円	1億8900万円	30億7650万円
北海道暴力追放センター	8億5300万円	7億2500万円	1億2800万円	9億9750万円
北海道健康づくり財団	6億8574万円	5億9474万円	9100万円	20億円
新千歳空港周辺環境整備財団	6億9995万円	5億8449万円	1億1546万円	2700万円
北海道栽培漁業振興公社	2億円	1億6746万円	3254万円	25億円
道青果物価格安定基金協会	9600万円	7900万円	1700万円	7000万円
道畜産物価格安定基金協会	1億2160万円	1億960万円	1200万円	9250万円
9団体（保有団体の銘柄非公開）	120億9570万円	100億3170万円	20億6400万円	100億3850万円

（注記）上記の一覧表は、評価損（含み損）は道議会決算委員会答弁された数値を用いた。簿価は報道と決算書及び包括外部監査報告書から、時価は簿価と評価損の逆算で算出した。評価損の推移は、平成20年度末では2法人9億4400万円が23年度は9法人20億6400万円に増大となる。剰余金の使途が不適切であるとの道の指摘（平成21年度）団体は、太字の団体で上段5法人。新千歳空港周辺環境整備財団は正式計上したことで、財産目録に記載された。尚、（公）札幌がんセミナーは（国所管）2銘柄・1億5千万円の保有が確認されるも時価等詳細は非公開で欄外扱いとした。

道への関与団体保有「仕組み債」の詳細開示は、法人の利益や地位が損なわれる恐れ为由で拒否されている。

# 道通知も無視購入した！

独断・独善・無責任

## 契約



真下 紀子議員の質問

道の総務部長通知後も仕組み債を購入している団体がありませんが「通知」の趣旨が活かされていないのではないですか。

仕組み債を購入している関与団体に道の元幹部が天下りをしていると云われるが、実態はどうなっているのですか。

また、包括外部監査や団体内部監査で指摘がされていますように、仕組み債購入にあたっては、理事会に諮るよう指導と勧告されていますが、道の指導を軽視して、道OB役員の独断で決済した団体はどこですか。

円高が続く発行体の格付けが低下して、元本の回収ができない事態も懸念されていますが、道はどう考え、どう指導されますか。お聞かせください。

道・総務部法人局の答弁

平成21年11月以降の仕組み債の購入は、平成22年に道馬鈴しょ生産安定基金協会と道栽培漁業振興公社が購入した。

平成24年は道健康づくり財団が購入をしています。道は財産運用はリスクを検討し、慎重に対応するよう指導している。

仕組み債保有の7法人で18名が一般職10名・管理職3名・役員の5名が再就職した。

この5名は決定権を有していません。資産運用にあたっては、団体規定の運用規定に基づき運営をしていて、道OBの独断はありえないと思われま

す。発行体の格付けが低下した場合、債券にもその影響が及ぶことになり、元本の回収リスクは増すものと考えています。

引き続き、発行体の経営状況などを、常に把握するよう所管部と連携し、法人に指導します。

また、道は、法人が保有する財産の運用は安全・確実であるべきと指導をしていきます。より一段と周知徹底をしていく。

## 通知後の購入に「誠に遺憾」高橋はるみ知事のおわび



「財産運用として不適切と通知しており、あらためて徹底したい」と道OBの団体役員が購入を決めていたことを認めた上で、「遺憾です！」と述べられ、お詫びとした。

この談話は15日の北海道新聞(朝)に掲載された。13日の道議会決算特別委員会、委員外議員の真下紀子議員(旭川市・共産党)への答弁である。

「元本が保証されているとはいえ、結果として、通達後も購入していた事実は遺憾です」と北海道栽培漁業振興公社の副会長が決めていたことを認めた。道の出えん金は100億円を超えている。

## 5団体「資金担当の道OB」が決済権

### 関与団体のOB再就職

(仕組み債保有団体との関わり)

関与団体名	道再就職者数	資金運用担当(道OB)
函館地域産業振興財団	1名	専務理事(道OB)
北海道暴力追放センター	9名	専務理事(道OB)
新千歳空港周辺整備財団	1名	理事長
北海道畜産物価格安定基金協会	3名	会長理事(その他)
北海道青果物価格安定基金協会	1名	理事長(その他)
北海道健康づくり財団	1名	常務理事(道OB)
北海道栽培漁業振興公社	2名	副会長理事(道OB)
合計	18名	(一般職員含む)

事務決済のできる再就職役員は5団体である

(お断り) 決算特別委員会は、一問一答式・委員長の進行で進められていますが、紙面の関係で割愛しています。